

令和4年度 障害者スポーツ推進プロジェクト (コーディネーター配置事業)

障がい者スポーツコンソーシアム

“しょうがいスポーツリンケージくまもと”

代表機関 NPO法人A-lifeなんかん

コンソーシアムによるコーディネーター配置

◆目的

熊本に障がい者スポーツを含めた生涯にわたって全ての人々がスポーツを行うことができる「場」を地域につくり定着させ、スポーツを通じた共生社会の実現を目指す

◆障がい者スポーツコンソーシアム

「しょうがいスポーツリンクージくまもと」
構成団体(①②は基幹団体)

長①熊本障がい者スポーツ指導者協議会

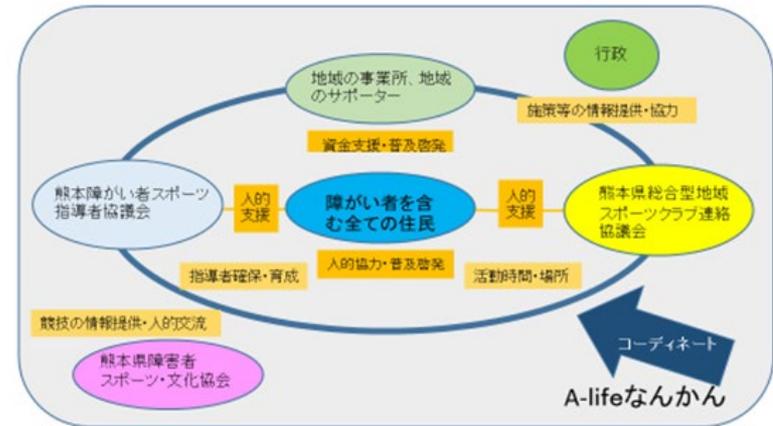
副②熊本県総合型地域スポーツクラブ
連絡協議会

- ・南関町(社会体育・福祉・学校)
- ・南関町社会福祉協議会
- ・九州ルーテル学院大学(研究者)
- ・久留米大学(アドバイザー)
- ・NPO法人A-lifeなんかん(代表機関)
- ・熊本県障害者スポーツ・文化協会*R5.1再加盟

◇会議 年4回

6月22日、8月24日、12月16日、2月28日

《 しょうがいスポーツリンクージくまもと 》



◆まとめ

- ・コンソーシアムの質向上と従来の構成団体に加え新たな支援者・実践者・研究者・当事者団体にネットワークを拡大することができた。
- ・団体間で協働しながら障がい者のスポーツ実施に繋がる場・手法の情報を障がい当事者と支援者に届けることで、次第に認知度も高まり直接の相談が寄せられるようになった。
- ・障がい者のスポーツ実施のきっかけづくりから継続へと繋げるにはコーディネーターの細やかな介入(調査・相談・計画・フォロー)が必要である。

障がい者スポーツコーディネート概要

熊本県全域

荒尾・玉名圏域

コーディネート準備事業

- ・パラスポーツコーディネートプログラムの作成
- ・コーディネーターによる障がい者支援者への訪問支援等の実施
- ・コーディネートの実施体制の整備促進
- ・コーディネートの機能強化

コーディネート事業

- ・相談者の相談内容に応じて、適切な関係機関へとつなぐ
- ・紹介内容によってはスポーツ実施会場への同行実施。
- ・アウトリーチ支援のためのコーディネートサポーターを配置
- ・障がい者のスポーツ実施の環境づくり、障がい者スポーツ教室開設情報の集約と発信を行う
- ・障がい当事者が参加しやすい環境づくり、多様な運動・スポーツ体験の創出、障がい者の家族に対する相談や啓発
- ・調査研究や広報の実施

来所電話相談



アウトリーチ



しょうがいスポーツリンクージュくまもと
改称【パラスポーツくまもと】

◆コーディネーターチーム◆

パラスポーツくまもと

- ・障がい当事者の相談窓口
- ・リンクコーディネーターが、関係機関と連携して訪問等支援を行うことにより、適切な機関につなぐ
- ・自治体単位の支援機関の取組支援
- ・福祉・スポーツ・医療等の多職種から構成されるチームの設置

※連携先

家族会・当事者会・社会福祉法人・地域スポーツ団体・自治体・社会福祉協議会など

コーディネートに携わる人材の養成事業

- ・コーディネーターの資質を向上させ訪問等によるコーディネートを実施
- ・各自治体等における障がい者スポーツ支援者との連携強化

1. コーディネート準備事業

(1) コーディネーターによる障がい者支援者への訪問支援等の実施

➡自治体担当者等へのヒアリングと情報提供

対象: 2市4町(南関町・和水町・長洲町・玉東町・玉名市・荒尾市)の①自治体障がい者支援担当課②自治体社会体育担当課③社会福祉協議会

➡障がい者に近い支援者への情報提供

対象: 障がい者とともに生きる協議会(行政+事業所)、障がい者支援施設

(2) コーディネートの実施体制の整備促進

➡ i コンソーシアム組織の整備(規約・役員)により、他団体への協力連携依頼に際し信頼を得られた。

➡ ii コンソーシアムの連携協力団体の拡大

【新規】●(公財)熊本県理学療法士協会 ●(社福)熊本県身体障害者福祉団体連合会 ●熊本保健科学大学 ●(N)ソーシャルインクルージョン研究センター ●(N)ひとづくりJAPANネットワーク

【再加盟】熊本県障害者スポーツ・文化協会

➡コンソーシアムの名称を「しょうがいスポーツリンケージくまもと」から、より活動内容が伝わるよう「パラスポーツくまもと」に改称。

(3) コーディネートの機能強化

(4) コーディネートプログラムの作成

2. コーディネート事業

(1) i 相談者の相談内容に応じて、適切な関係機関へとつなぐ ➡個人・支援学校からの相談に対応

ii 紹介内容によってはスポーツ実施会場への同行実施 ➡アウトリーチ支援のコーディネーターは適切な人材発掘に至らず、今年度はアドバイザーとコーディネーターが行った

(2) 障がい者のスポーツ実施の環境づくり、障がい者スポーツ教室開設情報の集約と発信を行う

➡パラスポーツの活動会場のあっせんと総合型地域スポーツクラブでのサークル立ち上げをサポート。

(3) 障がい当事者が参加しやすい環境づくり、多様な運動・スポーツ体験の創出、障がい者の家族に対する相談や啓発

➡ i パラスポーツ体験会やデモンストレーション、障がい者が参加するイベントを活用した声かけや紹介

(4) 調査研究や広報の実施

➡ i SNSや協力団体のHPを活用した情報発信

ii 相談窓口を知らせる「相談利用案内カード」の配布(点字加工を施し視覚障害者にも対応)



相談利用案内カード
(表紙・二つ折り名刺サイズ)

3. コーディネーター人材養成

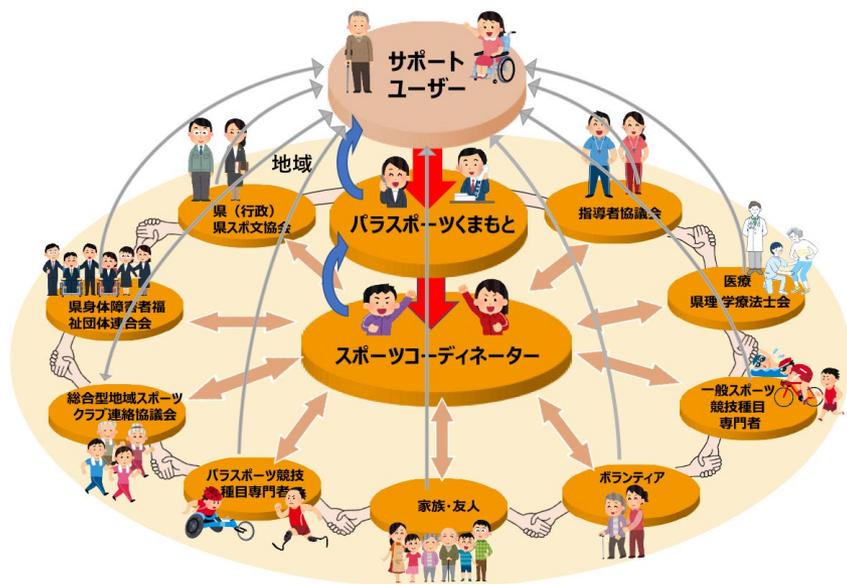
(1) コーディネーターの資質を向上させ訪問等によるコーディネート実施

- ➡ i 事業アドバイザー山本行文氏(日本パラスポーツ学会監事)とコーディネーターの週2回ペースのミーティング
- ➡ ii 先進地の視察による情報収集と運営方法の質向上

視察先①鹿児島県障害者スポーツ協会

②新潟県障害者スポーツ協会／十日町市教育委員会・NPO法人ネージュスポーツクラブ

(2) 各自治体等における障がい者スポーツ支援者との連携強化



4. 相談窓口としての「パラスポーツくまもと」開設

(1) 障がい当事者の相談窓口「パラスポーツくまもと」

- ➡ i コンソーシアム事務局であるNPO法人A-lifeなんかん内に相談窓口開設。直通電話も設置。
 - ➡ ii 相談窓口を知らせる「相談利用案内カード」の配布(点字加工を施し視覚障害者にも対応)
 - ➡ iii イベント等に合わせ相談窓口設置
- ※今後相談窓口機能の一環としてHPを開設予定。

(2) コーディネーターが、関係機関と連携して訪問等支援を行うことにより、適切な機関につなぐ

- ➡ コーディネーターのほか、今年度はアドバイザーが支援を行い、興味のあるスポーツだけでなく、多様な種目を紹介し、選択の幅を広げることができた。

(3) 自治体単位の支援機関の取組支援

- ➡ 新たに取り組みたい地域の支援機関(スポーツ団体等)に対し、パラスポーツ指導者の紹介や、パラスポーツイベント運営ノウハウなど情報提供した。

(4) 福祉・スポーツ・医療等の多職種から構成されるコーディネーターチームの設置

- ➡ コーディネーターには上級障がい者スポーツ指導員を充てる。※左図参照

事業者：NPO法人A-lifeなんかん

担当者：西田由実

TEL0968-57-9616／FAX0968-57-9617

E-Mail y.nishida@a-life-npo.com

熊本県玉名郡南関町大字関町1283番地

障がい者スポーツコンソーシアム

“しょうがいスポーツリンクージくまもと”

代表機関 NPO法人A-lifeなんかん